

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2011 助成の概要と推薦理由

助成番号 11-2-3

プロジェクト名 被災地域を中心とした小児医療施設へのクリニックラウンの特別派遣事業（2）
団体名 特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会
代表者名 河 敬世
所在地 大阪府
助成額 275万円（追加助成を含む）
助成期間 2011年10月1日～2012年3月31日
2012年1月1日～2012年7月31日
設立年 2004年
URL <http://www.clinicdowns.jp/>



本団体は、闘病生活を送る子どもの権利を尊重し、入院している子どもたちのもとへクリニックラウン（臨床道化師）のあたたかい笑顔と心のこもったふれあいを届けることを通じて、こどもの成長や発達を支え、入院中のQOL向上を目指している。

本年度前半に行った新規助成では、2011年4月から半年間、東日本大震災の被災地域の病院（東北大学病院、宮城県立こども病院、茨城県立こども病院）への毎月1回のクリニックラウンの派遣を支援してきた。大震災から半年がたち日常を取り戻しつつある一方で、心のストレスが徐々に表面に現れてくる時期でもある。また医療スタッフも、過労や生活再建で離職せざるを得ない状況も生まれてきていると聞く。そのような中での定期的なクリニックラウンの訪問は、小児病棟の空気を和らげ暖かさを運んでくるものとして、通常時以上に歓迎されている。

この間の訪問を通じて医療スタッフとの連携も深まり、病院からの要請もあることから、子どもの生活のQOLの維持のためにも派遣活動を継続したいという要望にこえて、さらに半年間の継続助成を行う。また、これまでの現場訪問が評価され他地域からの新たな依頼も受けて、派遣地域を拡大して対象とする。（岩手県沿岸部、福島県いわき市）

また、震災後1年間にわたる現地の状況と支援活動の記録を整理して記録に残し、広く伝えていくことは重要性が高い。また本団体は日頃から活動の記録を行い、支援者や一般に向けて丁寧な報告を行っている点も評価し、今回の記録を一般の人たちにも分かりやすい報告冊子にまとめて公表することに対して追加助成を行う。